



地域運営学校 「学ぶ・鍛える・思いやる」

自主の庭

八王子市立城山中学校 学校だより

令和7年6月 第3号

進みつつある教師のみ…

校長 田野倉 教泰

先月、城山中学校に教育実習生がやってきました。3週間、学校現場で様々なことを学びましたが、最終日には夢の実現に向けた頼もしい決意の言葉を聞くことができました。

私事で恐縮ではありますが、私の教育実習は40年も前のことになります。ですが、当時のことは大変印象深く残っています。実習日誌の裏表紙に「進みつつある教師のみ、人を教える権利あり」という言葉が書いてあり、現在においても私の教職としての大きな基盤になっています。ちなみに、この言葉はディースターベークというドイツの教育学者

(1790-1866)が提唱したものです。彼は、19世紀中期に民主国家の実現に向けた国民を形成するための教員育成に尽力しました。また、日本における公教育の根幹は「教育基本法」という法律で、第1条には「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」とあり、その理念は時代や国を超えて同じものであると考えます。

さて、昨今、教員の働き方改革や人員確保等の課題対応として、世間でも「教育公務員特例法（教特法）」が話題になることがあります。この法律は、教育公務員としての職務の特殊性から、身分や服務、研修等について定められたものです。そして、第21条は「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」とあります。職責遂行とは、言うまでもなく子どもたちの学びと育ちに関わる教育活動の推進と向上になります。そして、先生方は必要とされる個々のスキルアップに向けて研修に取り組んでいるところですが、特に今年度はその取組に積極性が加わっています。今後の先生方の成長が楽しみです。さらに、学校としての研修は、「ユニバーサルデザイン（UD）の視点に立った教育活動の推進」について取り組むこととしています。

ユニバーサルデザインとは、「文化・言語・国籍・年齢・性別・能力等の個人の違いに関わらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指した建築・製品・情報等の設計とそれを実現するための過程（出典：Wikipedia）」とあります。これを学校に適用していくことで、誰にとっても「分かる・できる」を目指した教育活動を推進することができるようになります。これまでも、教室の正面を整理したりや連絡用のホワイトボードを設置する、プリント作成時に専用の字体を使う等の工夫はしてきました。今年度は、改めて講師をお招きして講義をいただき、UDに対する考え方の共有と取組の再構築や新たな取組の導入等研修を深めていくことをとおして、城山中学校のUD化を一層進めていきます。

登校支援教室（マルベリー教室）の御案内

本校では、八王子市立小・中・義務教育学校における不登校総合対策「つながるプラン」に基づき、生徒が学校に登校するという結果のみを目標とするのではなく、生徒が自らの進路を主体的にとらえ、社会的に自立することへの支援に向けた不登校対策・登校支援対策を組織的に進めているところです。また、登校支援対策につきましては、昨年度より登校支援教室の運営を開始し、今年度は名称を「マルベリー（桑の実）教室」として現在に至っています。そして、今年度は2名の支援員に加えて不登校対応巡回教員が週に1回来校し、不登校対応に携わっています。

1 設置の目的

登校の意思はあるものの、さまざまな理由から教室へ登校できない生徒に対して、教室以外の学びの場や教職員との交流の場を確保・提供する。

2 開室日

月曜日（隔週）	12:30～15:30	1階学習室
水曜日	12:30～15:30	1階学習室
木曜日	8:50～15:30	1階学習室
金曜日	12:30～15:30	1階学習室

※行事等で開室しない場合があります

3 支援内容（一例）

(1) 学習支援

(2) 家庭訪問 ※要相談

4 時間割（一例、担任・支援員・本人と確認の上、どのように過ごすか決めます。）

(1) 12:30 登校、マルベリー教室で給食後、教科のワークを進め、15:30 下校。

(2) 8:50 登校、12:40 まで漢字練習や社会の勉強を進め、給食後下校。

(3) 4校時開始時に登校、教室で授業を受け、マルベリー教室で給食、教科のワークを進めて14:30 下校

学校評価におけるアンケートの実施

例年、7月と11月に生徒・保護者・地域の方々に学校の運営状況に対するアンケートを実施しています。昨年度の保護者アンケートはGoogle Formsで実施をいたしましたが、約8割の皆様から御提出をいただきました。御協力に感謝申し上げます。

このアンケートは、生徒がよりよい教育活動を享受することができるよう、学校運営の組織的・継続的な改善に向けた「学校評価」という取組における貴重な資料となります。また、学校づくりの土台は保護者・地域の方々からの御理解を得て、学校・家庭・地域の連携協力であると考えておりますので、アンケート実施時には積極的な御協力をお願いいたします。